

リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業 二次公募

審査委員からの総評コメント

二次公募で受け付けた申請について、審査項目ごとに、審査委員からいただいた総評コメントを公開致します。三次公募以降の申請の際の参考として、ご活用ください。

審査項目	コメント
ア. 提案内容において、ターゲット層の課題・ニーズ及び転職先の産業・企業の課題・ニーズが適切に把握されており、それらを繋ぐ一貫性のある取組内容（キャリア相談対応、リスキリング提供、転職支援）となっているか。	<ul style="list-style-type: none">支援対象の人材像と転職先の産業や職種が明確であり、そのために必要なリスキリング講座を提供することが読み取れる提案は他の提案との差別化を図ることができる可能性がある。支援対象者のキャリアゴールを明確にし、丁寧なキャリア選択を促していることが読み取れる提案であることが望ましい。
イ. 各プロセス（広報、キャリア相談対応、リスキリング提供、転職支援）で質を高めるための工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none">転職先で必要なスキルによっては、座学による講座受講のほかに実地研修もセットで取り組むべき分野もある。リスキリング後の転職先の想定に応じて適切な講座内容や実施方法が検討されていることが望ましい。キャリア相談とリスキリング提供の実施事業者が異なる場合、個人が適切に支援を受けられているか把握する観点から、実施事業者間の具体的な連携方法について記載されていることが望ましい。
ウ. 提案内容を実施するに当たって、実現性が高い実施体制、スケジュール、支出計画等になっているか。	<ul style="list-style-type: none">自社の企業規模に比して、過大な成果目標を掲げている等の実現可能性を考慮できていないと想定される提案は低い評価となる恐れがある。補助事業の実現性やクオリティを担保する観点から、規模に合った成果目標を設定することが望ましい。
エ. 本事業により特に高い成果が期待できるか（社会に与えるインパクト、リスキリング講座やサービスの新規性・独創性、転職率、類似事業での実績、賃金引上げの度合い等）。	<ul style="list-style-type: none">画一的な講座や基礎的な講座だけでなく、社会的なニーズである人材不足産業や成長産業への労働移動を意識した提案が行われることが望ましい。

※本総評コメントは、今後の提案に役立てていただくため、委員審査の中で、提案に当たって考慮されていることが望ましいとされたポイント、他の提案と差別化を図ることができる可能性があると考えられたポイント、低い評価となる恐れのあるポイントをまとめたものです。委員審査の内容は非公開であり、本コメントについてのご質問にはお答えすることはできませんので、ご了承ください。